

校名	高松市立亀阜小学校
住所	〒760-0006 高松市亀岡町10番1号
学級数	26学級
児童数	619名
校長	森 正彦
TEL	(087) 861-2013
FAX	(087) 861-2040

夢づくり人づくり新聞

第28号

香川県の教育発祥の地

亀阜歴史探訪

私たちの校区は、香川県の中心部に位置しています。昔から城下町として栄えてきました。そのため、生活科の町探検や総合的な学習の時間では、学校のすぐ裏にある紫雲山や石清尾山の自然や校区の歴史について学んできました。私たちが六年間かけて調べてきた、校区の由来や地域の偉人、史跡について紹介します。

亀阜の由来

赤塔山(現在の石清尾山)からすり鉢谷に連なる一帯は亀尾山と呼ばれて大樹が生い茂り、春は緑に秋は紅に四季折々の変化をみせて城下の人々の目を惹き寄せました。石清尾八幡宮は、城下近郊の尊崇をまつため、特に春秋の大祭には、みこしや山車、船や近郊に獅子がえんえんと続き、参道は人波でにぎわっていました。人々はこの亀尾山の前の丘が亀のよう

にいつまでもも来るといって亀と名づけられました。一八三四年松平金岳公(左近さん)は、城を出て、この土地に移り、その邸宅を亀阜荘と呼びました。この邸宅の跡地が、明治五年四月開校の原学亀阜学校の校舎となりました。

左近さんは、松平藩の人であったのですが、天皇を尊敬する尊王派の考えをもった人でした。志士をひきながら、尊王攘夷の考えを伝えていきました。安政の大獄で捕まった人や戦から逃れて讃岐にやってきた人々を保護しました。そして、朝廷のかかわりも深く、朝廷からの信頼も得ました。高松藩が朝敵となり、攻められるようになったときに左近さんが尽力し、高松の城下は戦火を免れたといわれています。

左近さんは、絵の才能にもあふれていました。左近さんがかいた画の中に石清尾八幡宮祭礼図巻があります。その図巻は、高松の氏神さん、石清尾八幡宮のお祭りの様子が描かれています。今は、香川県立ミュージアムにあります。その一部分の絵が、石清尾八幡宮の駐車場にもかけられています。

高松の氏神さん 岩清尾八幡宮 左近さんは、絵の才能にもあふれていました。左近さんがかいた画の中に石清尾八幡宮祭礼図巻があります。その図巻は、高松の氏神さん、石清尾八幡宮のお祭りの様子が描かれています。今は、香川県立ミュージアムにあります。その一部分の絵が、石清尾八幡宮の駐車場にもかけられています。

古代に思いをはせ 岩清尾山古墳群 私たちの学校の南側には、石清尾山があります。その石清尾山の山頂付近に、石清尾山古墳群があります。その古墳群は、四七世紀にかけて作られたものです。中でも四五世紀にかけて作られた石塚古墳は、全国的にもめずらしく、形も特異な双方中円墳をはじめ、前方後円墳など多様な重要な文化財です。

石清尾山古墳群では、古墳時代の初めにはすでに前方後円墳が出現していたらしく、亀阜小学校周辺の地域はほかの地域ではみられない古墳が多数存在しています。石清尾山古墳群の中でも山頂一帯に所在する十一基の古墳は、国の史跡にも指定されています。そこで、特にめずらしく有名な三基を紹介しましょう。一基目は、鏡塚古墳です。全長七十メートルの双方中円墳です。猫塚古墳とともに、全国的にもまれな墳形をとり、尾根最高所に立地されています。二基目は、石清尾山二号古墳です。直径十メートルの盛土墳です。近隣の三号墓とともに横穴式石室です。比較的保存状態の良い金環が出土し、東京国立博物館に飾られています。最後は猫塚古墳です。猫塚古墳は、非常に珍しい双方中円墳の積み重ねられた石塚古墳なので、石清尾山

古墳群の中で一番有名です。また、内行花文鏡などの銅鏡、銅剣、鉄剣、鉄刀などが出土しており、上野の国立博物館に飾られています。このように、石清尾山古墳群とその周辺地域は昔から先進的な地域であり、極めて特色があることも、高松の文化の原点として、また日本の歴史上貴重な古墳群といえます。

私たちは、このような貴重な文化財が身近にあることを誇りに思い、四年生の総合的な学習の時間では、石清尾山古墳群について調べています。古墳群を研究している埋蔵文化センターの方々に話を聞いたり、何度も峰山に登り古墳群を見に行ったりしています。石室などを見るとタイムスリップしたような感じがしました。貴重な文化を受け継ぎ、いろいろな人に紹介できるようにしたいです。

その後、一九五八年に、今の場所に六角堂が建てられて以来、戦災があった日に慰霊祭が行われてきました。遺族が高齢になってきて、集まる人が少なくなってきたので、毎年慰霊祭が行われてきました。戦争のことを忘れないうちに、平和な日本が続くように、私たちが受け継いでいかなければならないと思います。

編集後記 新聞を書くようになって二年生の生活科の町探検や三年生からの総合的な学習の時間の資料を見返ししました。私たちの校区には多くの歴史があり、それが今も受け継がれていることを再認識しました。大事にしていきたいです。

沿革 明治五年四月、県立学亀阜小学校として創立。大正三年、高松市亀阜尋常小学校となる。高松市の市街地に位置し、南と西は稲荷山・石清尾山に囲まれている。また、香川県庁をはじめ、諸官庁の機関があり官庁街をなしているほか、大学・高等学校や各種教育施設があり、高松の文教地域にもなっている。



亀阜荘・亀阜小学校初代校舎

金岳ともいいます。左近さんは、高松藩松平のお殿様の長男でしたが、弟に家督をゆずり、お城を出て城の南のほうにあった亀阜荘に移りました。そして、左近さんは亀阜荘で、学問や書道、和歌や俳句、華道や茶道、画などに励みました。大変優秀な人であったので、素晴ら



贈正四位松平左近君紀功碑

石清尾山古墳群は、全国的にもめずらしく、形も特異な双方中円墳をはじめ、前方後円墳など多様な重要な文化財です。

古墳群の中で一番有名です。また、内行花文鏡などの銅鏡、銅剣、鉄剣、鉄刀などが出土しており、上野の国立博物館に飾られています。

私たちは、このような貴重な文化財が身近にあることを誇りに思い、四年生の総合的な学習の時間では、石清尾山古墳群について調べています。

その後、一九五八年に、今の場所に六角堂が建てられて以来、戦災があった日に慰霊祭が行われてきました。



六角堂

戦争のことを忘れないうちに、平和な日本が続くように、私たちが受け継いでいかなければならないと思います。

編集後記 新聞を書くようになって二年生の生活科の町探検や三年生からの総合的な学習の時間の資料を見返ししました。

大正天皇は、左近さんの業績を認め、正四位という位を与えました。そして、左近さんの業績を残すため亀阜小学校に碑を建てました。この碑は、運動場の南にあります。

左近さんについては、三年生や六年生の総合的な学習の時間で調べています。高松藩の歴史を調べていると、左近さんのかいた書や画を見ることができました。左近さんを見習い、私たちは、学習や運動などに励んでいます。また、困った人がいたら助けられる人になりたいと、誓いを立て、いじめのない学校を目指しています。

高松の氏神さん 岩清尾八幡宮 左近さんは、絵の才能にもあふれていました。左近さんがかいた画の中に石清尾八幡宮祭礼図巻があります。その図巻は、高松の氏神さん、石清尾八幡宮のお祭りの様子が描かれています。今は、香川県立ミュージアムにあります。その一部分の絵が、石清尾八幡宮の駐車場にもかけられています。

古代に思いをはせ 岩清尾山古墳群 私たちの学校の南側には、石清尾山があります。その石清尾山の山頂付近に、石清尾山古墳群があります。その古墳群は、四七世紀にかけて作られたものです。中でも四五世紀にかけて作られた石塚古墳は、全国的にもめずらしく、形も特異な双方中円墳をはじめ、前方後円墳など多様な重要な文化財です。

石清尾山古墳群では、古墳時代の初めにはすでに前方後円墳が出現していたらしく、亀阜小学校周辺の地域はほかの地域ではみられない古墳が多数存在しています。石清尾山古墳群の中でも山頂一帯に所在する十一基の古墳は、国の史跡にも指定されています。そこで、特にめずらしく有名な三基を紹介しましょう。一基目は、鏡塚古墳です。全長七十メートルの双方中円墳です。猫塚古墳とともに、全国的にもまれな墳形をとり、尾根最高所に立地されています。二基目は、石清尾山二号古墳です。直径十メートルの盛土墳です。近隣の三号墓とともに横穴式石室です。比較的保存状態の良い金環が出土し、東京国立博物館に飾られています。最後は猫塚古墳です。猫塚古墳は、非常に珍しい双方中円墳の積み重ねられた石塚古墳なので、石清尾山

古墳群の中で一番有名です。また、内行花文鏡などの銅鏡、銅剣、鉄剣、鉄刀などが出土しており、上野の国立博物館に飾られています。このように、石清尾山古墳群とその周辺地域は昔から先進的な地域であり、極めて特色があることも、高松の文化の原点として、また日本の歴史上貴重な古墳群といえます。

私たちは、このような貴重な文化財が身近にあることを誇りに思い、四年生の総合的な学習の時間では、石清尾山古墳群について調べています。

その後、一九五八年に、今の場所に六角堂が建てられて以来、戦災があった日に慰霊祭が行われてきました。

発行者 公益社団法人 香川県教育会 松平頼武
〒七六〇一〇〇〇四
高松市西宝町二丁目六番四〇号
香川県教育会館内
電話・FAX (087) 834-1105
URL http://kagawasaki.jp

発行者のねがい 学校や地域の良さを県下の友達に発信し、郷土香川で学ぶ喜びを分かち合おう。学校や地域の良さを自覚し、郷土香川を大切にすることを忘れず、世界に羽ばたこう。

夢集会 ～夢の実現への第一歩～ 私たちの学校には、「夢集会」という集まりがあります。様々な分野で活躍している方々をお招きして、その職業を選んでいただき実現するためにがんばったことなどのお話を聞いていただきます。自分の将来のことを考えることのできる貴重な集まりです。夢をかなえるために必要なことや努力したことなどについてお話をうかがいます。先日は、京都から能楽囃子方をお招きし、能を演じていただきました。室町時代から続く能は、能楽の立ち振る舞いが独特の立ち振る舞いがあります。また、「一気合いを入れる」「一腹に力を入れる」など活動を行う方法を学びました。夢集会では、元フュージョングロウアップ選手の手谷谷広輝先生に来ていただきました。市谷先生は、夢を目標に変え、高い目標をもつこと、また、



能楽に取り組む様子